

静電気の力知る

土曜学習推進事業

【上士幌】町教委の土曜学習推進事業「サイエンスく静電気のふしぎく」が冬休み最後の18日、町山村開発センター大ホールで開かれた。

小学生17人が参加。NPO教育支援協会北海道(帯広)の内山晶子さんが実験や遊びを通して指導。プラスチックの下敷きをこすつ



て静電気を発生させ髪の毛を逆立てたり、風船を体の上に上がった。

頭の上で風船を離し、静電気の力を確認する子ども

張り付けたりして見えない静電気を確認した。静電気の風船を空き缶に近づけると転がる「空き缶レース」で

参加した上士幌小学校4年の杉森立平君(10)は「静電気はパチパチするだけでなく、くっついたり離れたりすることが面白かった」と笑顔で話した。内山さんは「身近に起きる面白く不思議なことに興味を持ち、想像力を養い、やってみたいと思う気持ちを育てたい」と話していた。サイエンス学習は継続して3回開催される。

(伊藤健蔵通信員)